

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タイムリ 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中にゃない：×)	意識障害 に陥った 時間	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一時的に 完全回復	経過	発熱の有無	呼吸器障害 の有無	循環器障害 の有無	消化器障害 の有無	泌尿器障害 の有無	その他	備考	記録者				
131	B07013375	9	年	男性	記憶障害 異常行動	2007/3/28	夕方	2007/3/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/27 発熱38℃(台)増悪。鼻汁、食欲減少。 2007/3/28 (午前中)本署来院。インフルエンザウイルス検査にてインフルエンザA型診断。(夕方)目の本剤15mg服用。服用後数時間後、自宅を徘徊しているのを家族が見付ける。記憶障害(非重篤)発現。(夜間)奇声を発する。異常行動、奇声(非重篤)発現。 2007/3/29 回復した。回復後、本人へ、前日夕方よりの行動について記憶がなかったとコメントした。 本剤は1回のみ75mg服用し、その後は中止。	無	24		
132	B07013398	9	年	女性	異常行動	2007/2/5 2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6 2007/2/7 2007/2/7 2007/2/7 2007/2/8 2007/2/8 2007/2/9 2007/2/9	12:00過ぎ 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕	2007/2/5	14:00	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/5 (12:00過ぎ)インフルエンザA型治療のため、本剤45mg×2/日投与開始。発症時自他覚所見：発熱38℃(口)(7/2/4)、咳、消化器症状(嘔吐、下痢)。(14:00)本剤初回服用後、2時間くらいして、舌つきが変わって、しきりに外に出ようしたり、何か取のわからないことを言ったりした。多量の発汗があった。異常行動(非重篤)発現。 2007/2/6 異常行動回復。 2007/2/7 (～2/9)発汗の本剤をすべて服用しても同様の症状の出現なし。	無	25			
133	B07015225	9	年	男性	睡眠時驚悸	2007/2/28 2007/2/28	発現日前日の 夕方他に1回	2007/2/27	5:00	○	Yes	-	数時間	No	解熱過程	No	-	-	-	-	No	No	2007/02/28 インフルエンザB型治療のため、本剤投与開始。(05:mg×2/日) 2007/02/27 (5:00)起床時、突然重症は不明の事を叫び出し、階下より3Fまで走って上り、悪夢に怯えるような状態が30分～1時間持続。夜驚(睡眠時驚悸)発現。回復。この時発汗(非重篤)や顔面紅潮(非重篤)を伴っていた。この時の事を本人は記憶しておらず、救急車で小児科受診し、受診時の事は憶えている。 2007/03/02 (18:00)夕方から続いていたところ、衝動的に寛解。またまらぬいざりや小児科受診。夜驚(睡眠時驚悸)再発(非重篤)発現。(21:00)突然「怖い」と言い出すも、父に抱かれて落ち着く。 2007/03/05 同じのエピソードが短時間有り。(1:00)睡眠中、中途覚醒し「怖い」と訴え、(悪夢)をみたと言及。悪夢(非重篤)発現。 2007/03/06、07、11、12、14、15、17 同上のエピソードが短時間有り。悪夢、夢を伴う事多し。 2007/03/27 この日を最後に夜驚(睡眠時驚悸)・悪夢は見られなくなった。軽快。 2007/04/08 発汗・顔面紅潮、軽快。 2007/05/25 上記各所見、診療時には快復している事を確認した。	無	
134	B07023327	9	年	女性	異常行動	2007/10/15 2007/10/15 2007/10/16 2007/10/16 2007/10/17 2007/10/17 2007/10/18 2007/10/18	午前 午後 午前 午後 午前 午後 午前 午後	2008/1/15 2008/1/16	-	-	○	-	-	-	Yes	不明	No	No	No	-	No	-	2008/01/15 (朝来所見、インフルエンザAと判定。本剤20mg×2/日処方。(午前)33.5℃。帰宅後本剤服用。2時間経過後発症していたが、母親が気づいたときとは1階をうろちた(急に2Fから1Fに降りた)。母親がどうしてうろちているのか子供に尋ねると強に涙つきたように、1階に降りた記憶が無いとの事。この時点では本剤服用中止せず。寝ているときも度々多く天井に向かい両手を床面に動かしていた。異常行動(非重篤)発現。 2008/01/18 就寝中寝食や、手を払いのける行動あり。再診時は異常な様子は見られなかった。 2008/01/18 (午前)33.8℃。異常行動(非重篤)回復。インフルエンザ軽快。 2008/01/19 本剤投与終了。	無	
135	B07023358	9	年	女性	異常行動	2008/1/28 2008/1/28 2008/1/28 2008/1/28 2008/1/29 2008/1/29 2008/1/30 2008/1/30	17:30 21:00 3:00 19:00	2008/1/28 2008/1/27	20:50 15:00	-	-	-	5分 3分	Yes	発熱持続中	No	Yes	No	No	No	睡眠時驚悸	2008/01/26 (17:30)インフルエンザ治療のため、本剤(20mg×2/日)服用開始。(20:50)眠っている家族は思っていたが就寝中急に起き上がり、部屋の中をぐるぐる回ったり、意味不明なことをぶつぶつ言ったりしていた。異常行動(非重篤)発現。発熱40℃。(20:55)症状回復。(21:00)本剤内服。 2008/01/27 (15:00)再度発熱。一人寝などあり。異常行動(非重篤)発現。発熱39℃。(15:00)症状回復。初日は関係であったが、持続が短かった。 2008/01/28 (9:00)風邪症状に電話にて報告あり。その後はおかしな行動は見られないと言及。発熱38℃。 2008/01/30 本剤投与終了。	無		
136	B07026154	9	年	男性	異常行動	2008/2/3	18:30	2008/2/3	22:30	○	Yes	2時間	30分	Yes	-	-	-	-	-	-	No	-	2008/02/03 (19:30)A型インフルエンザの診断にて、本剤57mg内服。(20:30)就寝。(22:30)突然異常な目つきで階段を駆け上がった。(23:00)親が取り押さえて眠りについた。その後 異常行動回復。	無	
137	B08001747	9	年	男性	異常行動	2008/1/24 2008/1/25	1日2回	2008/1/25	22:30	-	-	-	-	-	発熱持続	-	-	-	-	-	-	-	2008/01/24 インフルエンザA型およびB型同時感染のため、本剤服用開始(51mg×2回/日)(～1/25) (18:45)体温：38.0℃。 (22:30)本剤。他併用薬内服。 2008/01/25 (22:30)患者本人が母親の床の敷のところで這きながらあやまっていたのを見て、弟が階下にいる母親に知らせに行った。本人も一緒に階下に降りて、おびえて母親に抱きつかせられた。うろちた。うろちたとおびえて震えていた。死にたい、ごめんなさい。死にたいと不機嫌であったが、一旦鎮んになっていた。異常行動発現。 2008/01/26 (9:30)起き上がりトイレに行きたいと言ったが、トイレに行かないでテレビの前で座ってうろちた。うろちたとおびえて震えていた。死にたい、ごめんなさい。これ等不穏状態を繰り返す。1時間くらい経って落ち着いた。この間ずっと異常で力が強い。以後本剤中止。異常行動回復。	無	

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
※：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

リン酸オセルタミビル

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
＊：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

リン酸オセルタミビル

No	識別番号	年齢 範囲	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	異常な 行動が 発現した か	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	発熱 の有無	嘔吐 の有無	下痢 の有無	意識 レベル	発熱 の程度	異常な 行動の 持続時間	異常な 行動の 頻度	異常な 行動の 内容	異常な 行動の 経過	異常な 行動の 結果	異常な 行動の コメント	旧資料No		
157	B06024935	11	年	男性	異常行動	2007/2/19	20:30	2007/2/20	6:30	○	Yes	10hr	5分	Yes	—	No	Yes	No	No	No	Yes	睡眠時異常 発作等	111	
158	B06025190	11	年	男性	①異常行動 ②幻聴	2007/2/18 2007/2/19	夜間	2007/2/19	①午後 ②午後	①○ ②—	①Yes ②—	—	①10分 ②—	Yes	—	Yes	No	No	—	No	無	③ヤケクサみたいな人が入ってきたと本人が訴えた。 ④トイレの扉より飛び出し自宅のまわりを裸足で走り、川の中まで入った。田んぼを徘徊。その後しばらく側溝に隠れていた。 ⑤逃げるといふ声が聞かれたと、本人が訴えた。	112	
159	B06026130	11	年	男性	①激越 ②異常行動	2007/02/10	21:00	2007/02/11	0:20	—	No	—	6時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	No	無	ウロウロ家の中を数回歩き回った。うーと天井に向かって両手を突き上げ、手を振りしめた。その後がスズを足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切って、外傷で縫合した。	113
160	B06026540	11	年	男性	異常行動	2007/2/5 2007/2/6 2007/2/8	18:00 8:00 18:00	2007/2/7	2:00	○	No	5	4時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	不明	2007/2/05 インフルエンザB型と診断。(18:00)タミフル75mg×1/日投与開始。 2007/2/6 (8:00)タミフル75mg服用。(19:00)タミフル75mg服用3回目(夕食後)。(21:00)入眠。 2007/2/7 (2:00)異常行動発現。うわ言を書きつて起き上がり、トイレに行ったら、「フツフツ」言いながらベランダや玄関の扉を叩き、外へ出ようとした。母親が必死に止めるがカブで何度も同様の行動を繰り返したが、母親がその直金力で止めた。(4:00)症状がその場で治ったが、その後入眠。(9:00)翌日、熱が下がらず何事もなく帰ったように回復。目がさめたが、異常行動については、全く覚えていなかった。異常行動回復。	114
161	B07000058	11	年	男性	異常行動	2007/2/21 2007/2/22 2007/2/23 2007/2/24	夕 朝 夕 朝 夕	2007/2/24	18:00	×	No	—	30分	Yes	解熱過程	No	No	—	No	No	No	無	2007/2/21 ポラミン2mg×3/日の投与開始(〜3/24)。(タミフル)インフルエンザA治療の為、タミフル75mg×1/日の投与開始。 2007/2/22 タミフル増量。(75mg×2/日 ~2/23) 2007/2/23 夜就寝。 2007/2/24 (18:00)起床。タミフル75mg/日最終投与(起床がおそかったため朝の分)。(18:20)玄関から外に出ようとしているのが気付いた。もう寝たいので外出するのはやめなさいと言ったところ玄関に響いた。特に異常さは感じなかったが、後から考えるとおかしい行動だった。(19:00)異常行動による転落発熱(発熱)。居間で父とTVをみていたが、ふと立ち上がり階段に行った。すぐにドンッと言がしたので見るとベランダの下の土の上について、ボーッとしていた。家に戻るよう言がして一緒に入り、30分後にはもうボーッとした感じではなくなった。意識ははっきりしていた。どうして落ちたのか聞いてもわからないと答えていた。外傷はごく軽い打ち込みのみで特に手当てはしなかった。	115
162	B07000111	11	年	男性	異常行動	2005/2/17 2005/2/18 2007/2/21 2007/2/22 2007/2/23 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/26	時刻不明 18:00	2007/2/22	1:00	—	Yes ねぼけ	—	15分	Yes	解熱過程	Yes	おつと に症状+	Yes 母の父、母	—	No	無	2005/2/17 (タミフル)インフルエンザ治療の為、タミフル投与開始(不明×1/日)。(夜)体温38.8℃ 2005/2/18 (5:00)体温38.8℃(午前)タミフル投与(投与量不明)内服。タミフル投与(不明×2/日 ~07/2/21) (15:00)異常行動あり。10分位、布団に潜って「キャッシュが卒業して」と言いながら泣いている。(原因不明) 就寝。異常行動なし。 2005/2/19 インフルエンザの転帰：軽快。 2005/2/22 (朝)本剤投与(不明×1/日)。 2007/2/21 (朝)38.8℃の発熱。(夕)39.0℃。発熱時37.4℃。B型インフルエンザと診断。本剤処方。(18:00)タミフル内服開始。(75mg×2/日 ~07/2/28) 2007/02/22 (1:00)急に起きてトイレにしばらくももっていた。父親が引きずり出した。その後階段を登ったり降りたりを繰り返す。しばらくして居で寝かしたところ。布団で寝てあり、おかしなことを言う(他人と話している)。5分位経った。母親に「第一子は男の子なのがお母さんはマリーアントワネット」と言う。少しお説教されたが、いつもよりひどくなっていた。この時発熱なく37.0℃台だったことを確認している。夕方より(受診時)熱はなかったとのこと。異常行動発現。インフルエンザの転帰：軽快。 2007/2/23 翌日、めだめてからは症状(—)。異常行動回復。 2007/2/28 本剤の服用終了。 2008/2/27 発熱。39℃の発熱。鼻汁、咽頭痛、動悸を認め、午前中発熱。インフルエンザA型と診断。本剤2cap/2分、ポラミン(2mg)投与。ムコダイン(2500錠、アストマリ3錠、カロナール(200)錠を処方。(15:00)38.7℃あり。上記薬剤を服用。(21:00)上記薬剤を服用。(21:30)就寝。(23:00)1階にいた家族の知らないうちに、2階より度々裸足のまま家を出て、近くの家で寝てしまっていた。その後連れ戻して、すぐ寝かせ。翌日まで就寝。発熱したのが飛び下りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのことであった。何時かは不明であるが、その前の晩までは38.7℃であった。 2006/2/28 朝、38.8℃あり。発熱。発熱時は元来もあり、意識も清明で特に異常所見は認めなかった。咽痛を認め、A型漢方(AH3)を処方している。 2006/3/1 (8:00)38.9℃ (17:00)38.6℃ 2006/3/7 インフルエンザ回復	116	
163	B07000121	11	年	女性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	13:00 21:00	2007/2/27	23:00	—	—	1.5	1時間	Yes	発熱持続	No	Yes (軽いもの)	No	No	No	No	無	2007/2/27 発熱。39℃の発熱。鼻汁、咽頭痛、動悸を認め、午前中発熱。インフルエンザA型と診断。本剤2cap/2分、ポラミン(2mg)投与。ムコダイン(2500錠、アストマリ3錠、カロナール(200)錠を処方。(15:00)38.7℃あり。上記薬剤を服用。(21:00)上記薬剤を服用。(21:30)就寝。(23:00)1階にいた家族の知らないうちに、2階より度々裸足のまま家を出て、近くの家で寝てしまっていた。その後連れ戻して、すぐ寝かせ。翌日まで就寝。発熱したのが飛び下りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのことであった。何時かは不明であるが、その前の晩までは38.7℃であった。 2006/2/28 朝、38.8℃あり。発熱。発熱時は元来もあり、意識も清明で特に異常所見は認めなかった。咽痛を認め、A型漢方(AH3)を処方している。 2006/3/1 (8:00)38.9℃ (17:00)38.6℃ 2006/3/7 インフルエンザ回復	117

リン酸オセルタミビル

19

リン酸オセルタミビル

21

• • •